

薬事委員会記録

日 時：2019年12月5日(木) 16時00分

場 所：医学部1階 小会議室

出席者：鈴木、白木、大野、諏訪、吉倉、池田、山口(和)、早崎、田中、川瀬、周、加藤(卓)、大井、武内、吉田(学)、北川、荒木、吉田(省)、堀川、境、笹井、佐野、山口(昇)、太田、安田、小森、小林、山内

委任状提出：坂井、西堀、加藤(博)、田辺、白上、安藤、馬場、塚田

欠席者：江頭、堀、長瀬、青木、酒々井

記録の承認

2019年9月5日開催の薬事委員会の記録を承認した。

議 題

1. 医薬品の採用について

4品目(レブラミドカプセル 5mg、グラクティブ錠 25mg、タリージェ錠 5mg、フェントステープ 0.5mg)の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

6品目(デベルザ錠 20mg、ツムラ麻子仁丸エキス顆粒、ビムパットドライシロップ 10%、テリルジー100 エリプタ 30 吸入用、ゴナックス皮下注用 240mg、ザバクサ配合点滴静注用)の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

7品目(アジレクト錠 1mg、ミネブロ錠 2.5mg、ラグノス NF 経口ゼリー分包 12g、キシロカイン注シリンジ 1%、コアベータ静注用 12.5mg、トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス、メソトレキセート点滴静注液 1000mg)について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。

4. 医薬品の採用中止について

9品目(ニカルジピン塩酸塩徐放カプセル 40mg「日医工」、硫酸ポリミキシン B 錠 100 万単位「ファイザー」、ファロムドライシロップ小児用 10%、ブロメライン軟膏 5 万単位/g、ボンアルファハイローション 20μg/g、アキネトン注射液 5mg、カドサイラ点滴静注用 100mg・同 160mg、ノボラピッド 70 ミックス注フレックスペン 300 単位)の採用中止を承認した。

5. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

18品目(ビジンプロ錠 15mg・同 45mg、ビソノテープ 2mg、ビレーズトリエアロスフィア 56 吸入、ゾルトファイ配合注フレックスタッチ、イノラス配合経腸用液、ゼボラスパップ 40mg・同 80mg、エタネルセプト BS 皮下注 25mg シリンジ 0.5mL「TY」・同 50mg シリンジ・50mg ペン、テリボン皮下注 28.2μg オートインジェクター、アジマイシン点眼液 1%、ミニリンメルト OD 錠 25μg、ロナセンテープ 20mg・同 30mg・同 40mg、オゼックス錠小児用 60mg)の院外採用を報告した。

②医薬品の院外採用中止について

10 品目（シプロキサシ錠 100mg、スオード錠 100mg、セレナール錠 5mg・同 10mg、セロケン錠 20mg、テノーミン錠 50、ポラキス錠 2mg、メンドンカプセル 7.5mg、アドエア 125 エアゾール 120 吸入用、イノレット 30R 注）の院外採用中止を報告した。

③緊急購入医薬品の登録について

14 品目（イストダックス点滴静注用 10mg、ゾスパタ錠 40mg、デファイテリオ静注 200mg、デムサーカプセル 250mg、シグニフォーLAR 筋注用キット 10mg、シムジア皮下注 200mg オートクリックス、オンパットロ点滴静注 2mg/mL、オテズラ錠 10mg・同 20mg・同 30mg、リツキサシ点滴静注 100mg・同 150mg、ヒーロン V 眼粘弾剤 2.3%シリンジ 0.6mL、ユルトミリス点滴静注 300mg）の緊急購入の登録を報告した。

6. 医薬品の販売中止について

3 品目（アドフィードパップ 80mg、ガストロゼピン錠 25mg、ビオラクチス散）の販売中止を報告した。

7. 販売中止に伴う製剤変更医薬品について

販売中止に伴い、4 品目（アカルボース錠 50mg「ファイザー」、アダラートカプセル 5mg・同 10mg、ビタミン E 錠 50mg「NP」）の変更について報告した。

8. 医薬品の製剤変更について

サムスカ錠 7.5mg・同 15mg のサムスカ OD 錠 7.5mg・同 15mg への変更について報告した。

9. 医薬品供給の現状について

現在のタゾピペ配合静注用「ファイザー」およびヴェノグロブリン IH の供給状態について説明し、対応方法について説明を行った。

10. フォーミュラリーの運用について

H₁ 受容体阻害薬について、オロパタジン塩酸塩錠 5mg「ケミファ」、エピナスチン塩酸塩錠 20mg「日医工」・フェキソフェナジン塩酸塩 OD 錠 60mg「トーワ」を推奨薬とした院内ルールを作成し、本ルールに従って医薬品を使用した場合、最大で 117 万円/年の医薬品費削減効果が得られることを説明し、導入を承認された。また、フォーミュラリーの運用に関する新規システムの導入について説明を行った。

次回薬事委員会の開催日時は、2020 年 3 月 5 日（木）とした。